

平成30年度 下水道事業会計決算の概要

資料3

(1) 経営収支(税抜額)

(単位:億円)

項目	区分	平成30年度 決算 (1)	平成29年度 決算 (2)	決算対比		主な増減理由
				差引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100	
収 益	下水道使用料	188.3	189.4	▲ 1.1	▲ 0.6	有収水量の減 172,538→171,596千m ³ △942千m ³ 〔注1〕
	一般会計からの補助金	43.2	42.8	0.4	0.9	
	長期前受金戻入	100.0	100.7	▲ 0.7	▲ 0.7	償却対象資産のうち国費相当分の減による 汚水分 △1.2億円 両用分 △0.2億円
	その他収益	4.7	4.1	0.6	14.6	
	特別利益	8.5	9.0	▲ 0.5	▲ 5.6	過年度収入の皆増 +1.4億円 補助金カット分の返還 9→7.1億円 △1.9億円 〔注2〕
	合計(A)	344.7	346.0	▲ 1.3	▲ 0.4	
費 用	維持管理費	90.4	87.4	3.0	3.4	
	人件費	24.1	23.9	0.2	0.8	
	物件費	66.3	63.5	2.8	4.4	処理場・ポンプ場 修繕費の増 +0.9億円 委託料(汚泥焼却施設修繕)の増 +1.4億円
	資本費	244.5	245.4	▲ 0.9	▲ 0.4	
	減価償却費等	219.1	217.9	1.2	0.6	償却対象資産の増
	支払利息	25.4	27.5	▲ 2.1	▲ 7.6	平均利率の低下による減 1.92→1.83% 市債残高の減 1,439→1,415億円 △24億円
	特別損失	0.3	0.3	▲ 0.0	▲ 0.0	
	合計(B)	335.2	333.1	2.1	0.6	
当年度損益(C)=(A)-(B)		9.5	12.9	▲ 3.4	—	
前年度繰越利益剰余金(D)		20.0	24.2	—	—	
当年度未処分利益剰余金 (E)=(C)+(D)		29.5	37.1	—	—	
利益剰余金処分量(F)		▲ 9.5	▲ 17.1	—	—	
翌年度繰越利益剰余金 (G)=(E)+(F)		20.0	20.0	—	—	

〔注1〕 「下水道使用料」には、民間社会福祉施設等の減免に対する一般会計補助金を含む。

〔注2〕 平成30年度末で全ての返還が完了した。(平成8～10年度カット額153億円)

[参 考 1]

経営収支（税抜額）〔平成30年度予算・決算比較〕

（単位：億円）

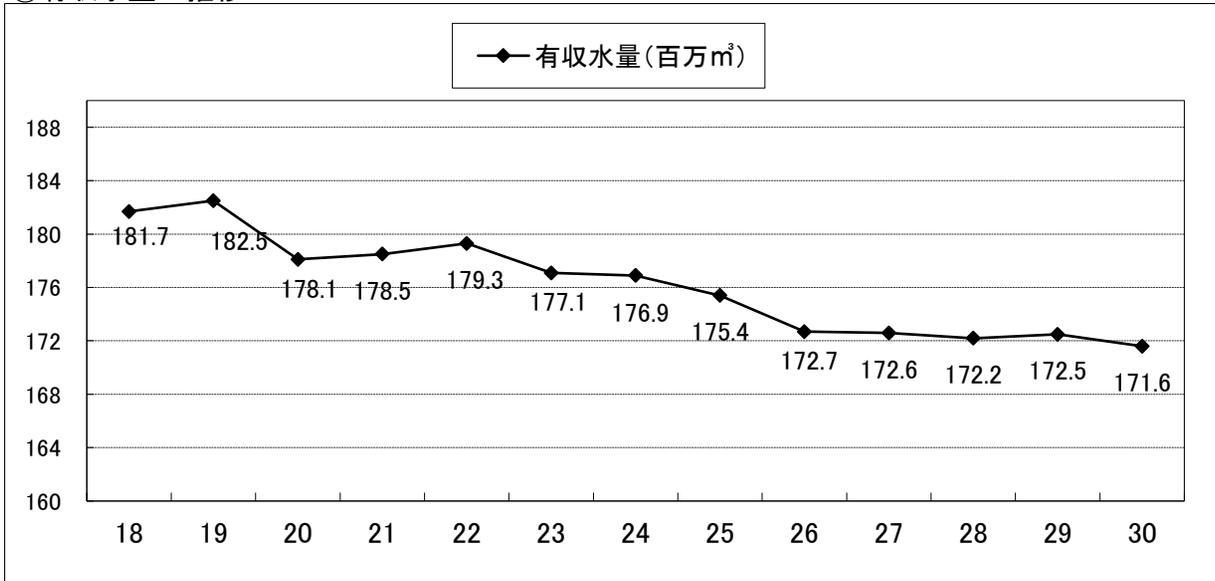
区 分		平成30年度 決算 (1)	平成30年度 予算 (2)	差 引 (3)=(1)-(2)	主な増減理由
項 目					
収 益	下 水 道 使 用 料	188.3	186.3	2.0	有収水量の増 〔注1〕
	一般会計からの補助金	43.2	44.0	▲ 0.8	
	長 期 前 受 金 戻 入	100.0	100.7	▲ 0.7	
	そ の 他 収 益	4.7	4.5	0.2	
	特 別 利 益	8.5	1.0	7.5	補助金カット分の返還金〔注2〕 過年度収入
	合 計 (A)	344.7	336.5	8.2	
費 用	維 持 管 理 費	90.4	96.7	▲ 6.3	
	人 件 費	24.1	25.5	▲ 1.4	
	物 件 費	66.3	71.2	▲ 4.9	処理場費における光熱水費の減 流域維持管理負担金の減
	資 本 費	244.5	249.4	▲ 4.9	
	減 価 償 却 費 等	219.1	222.2	▲ 3.1	
	支 払 利 息	25.4	27.2	▲ 1.8	29年度起債発行額の減 29年度発行利率の減
	特 別 損 失	0.3	0.3	0.0	
	合 計 (B)	335.2	346.4	▲ 11.2	
当年度損益(C)=(A)-(B)		9.5	▲ 9.9	19.4	

〔注1〕 「下水道使用料」には、民間社会福祉施設等の減免に対する一般会計補助金を含む。

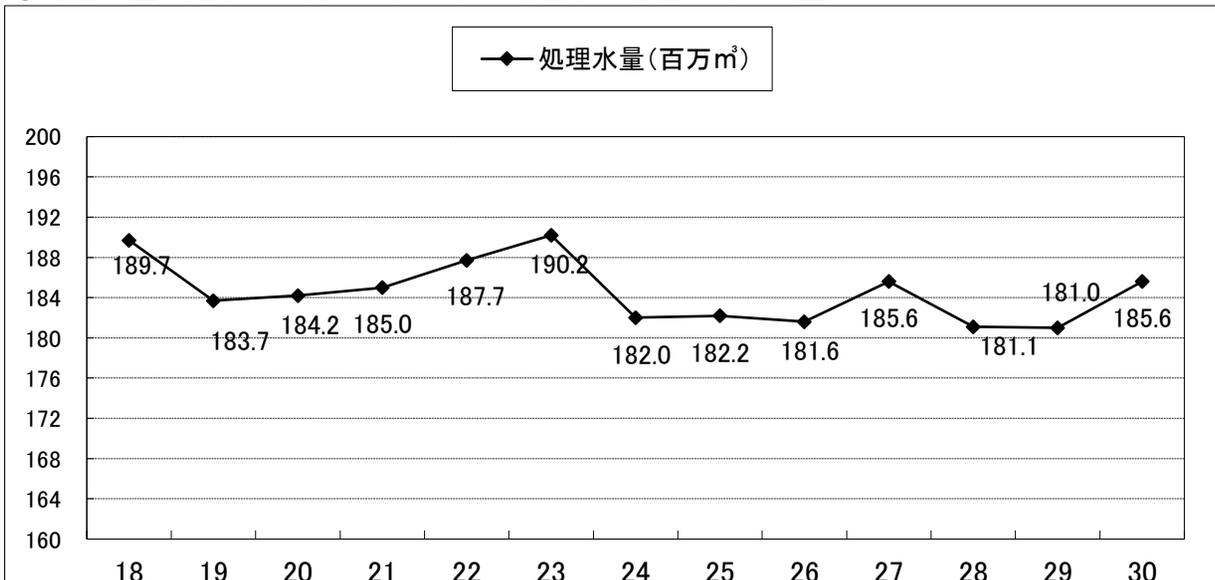
〔注2〕 平成30年度末で全ての返還が完了した。（平成8～10年度カット額153億円）

(2) 業務量の推移

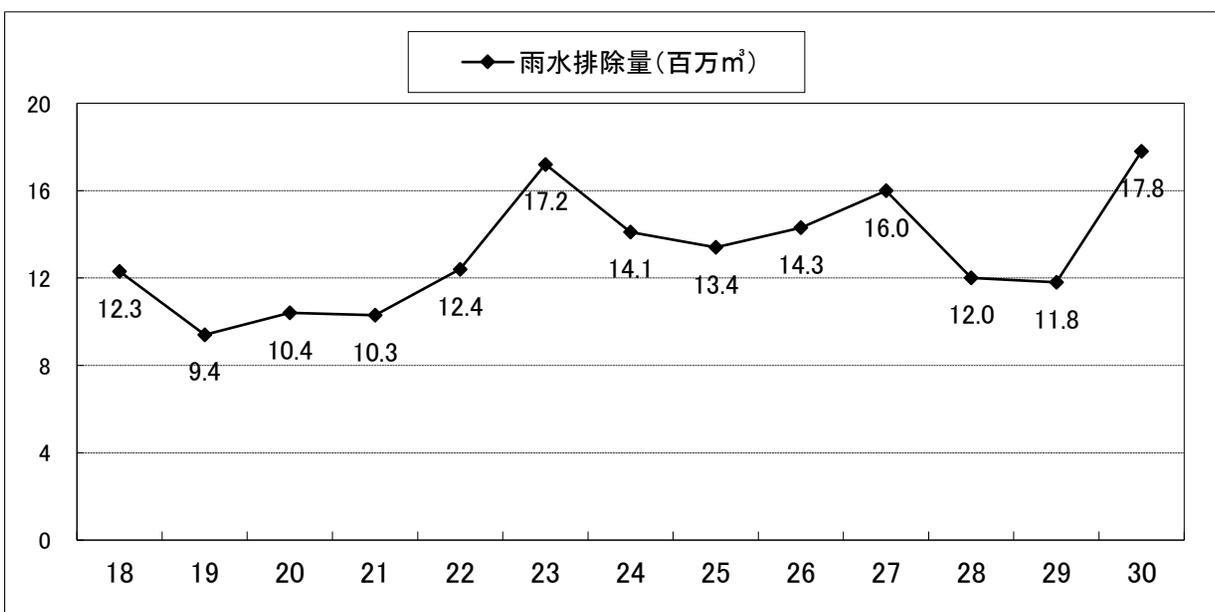
① 有収水量の推移



② 処理水量の推移 (市内6か所の下水処理場で処理した汚水量)



③ 雨水排除量の推移 (市内15か所の雨水ポンプ場で排除した雨水量)



(3) 資本的収支（税込額）

（単位：億円）

項目		区分	平成30年度 決算 (1)	平成29年度 決算 (2)	決算対比	
					差引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100
収 入	企業債		94.6	99.1	▲ 4.5	▲ 4.5
	国庫支出金		40.5	52.4	▲ 11.9	▲ 22.7
	他会計からの繰入金		4.8	5.0	▲ 0.2	▲ 4.0
	財産収入		0.0	0.1	▲ 0.1	▲ 100.0
	基金繰入金		20.1	0.0	20.1	皆増
	雑収入		0.9	3.3	▲ 2.4	▲ 72.7
	合計(A)		160.9	159.9	1.0	0.6
支 出	建設改良費		171.9	199.3	▲ 27.4	▲ 13.7
	処理場建設費		27.1	33.6	▲ 6.5	▲ 19.3
	ポンプ場建設費		6.9	11.7	▲ 4.8	▲ 41.0
	汚水幹枝線布設費		69.7	74.1	▲ 4.4	▲ 5.9
	雨水幹枝線布設費		22.8	27.1	▲ 4.3	▲ 15.9
	流域下水道事業費		1.8	0.7	1.1	157.1
	処理施設等整備費		43.6	52.1	▲ 8.5	▲ 16.3
	基金への積立金		0.0	1.1	▲ 1.1	▲ 100.0
	企業債償還金		119.1	87.9	31.2	35.5
	合計(B)		291.0	288.3	2.7	0.9
収支差引(C) = (A) - (B)			▲ 130.1	▲ 128.4	▲ 1.7	—

〔注〕資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額130.1億円は、損益勘定留保資金等で補てんした。

[参 考 2]

平成30年度末神戸市下水道事業会計貸借対照表

(単位：百万円)

借 方		貸 方	
資 産 の 部		負 債 の 部	
固 定 資 産 605,198		固 定 負 債 134,578	
有形固定資産 596,033		企業債 131,859	
土 地 55,110		引 当 金 2,495	
建 物 48,918		その他固定負債 224	
建物付属設備 8,096		流 動 負 債 16,770	
構 築 物 816,360		企業債 9,637	
機 械 及 び 装 置 170,453		未 払 金 6,873	
車 両 運 搬 具 134		預 り 金 等 15	
工 具 器 具 及 び 備 品 2,678		引 当 金 245	
建 設 仮 勘 定 17,082		繰 延 収 益 221,059	
減 価 償 却 累 計 額 ▲522,798		長期前受金 484,111	
無形固定資産 1,949		収益化累計額 ▲263,052	
地 上 権 53		資 本 の 部	
施 設 利 用 権 1,889		資 本 金 118,261	
電 話 加 入 権 7		自 己 資 本 金 118,261	
投 資 7,216		剰 余 金 148,551	
基 金 7,070		資本剰余金 143,882	
敷 金 6		国 庫 補 助 金 48,188	
出 え ん 金 139		他 会 計 繰 入 金 20	
そ の 他 投 資 1		工 事 負 担 金 71,063	
破 産 更 生 債 権 等 31		受 贈 財 産 評 価 額 998	
貸 倒 引 当 金 ▲31		その他資本剰余金 23,613	
流 動 資 産 34,021		利 益 剰 余 金 4,669	
現 金 預 金 27,689		建 設 改 良 積 立 金 1,719	
未 収 金 6,309		未 処 分 利 益 剰 余 金 2,950	
貯 蔵 品 21			
その他流動資産 2			
合 計 639,219		合 計 639,219	

[参考 3]
「こうべアクアプラン 2020」進捗状況について

指標の達成状況

下表に示す通り、計画期間 5 カ年のうち、3 カ年が経過した昨年度末時点で、一部の指標については目標達成した。その他の指標についても事業を行っているところであるが、来年度からは本計画を下水道事業経営計画に承継する予定であり、指標についても改めて検討する。

基本方針	施策	指標	平成 27 年度末	平成 30 年度末	令和 2 年度末 (目標)	備考
安心で快適な市民生活と社会活動を支えます。	膨大なストックの改築更新	污水管きよの再構築(耐震化)済みエリア内の昼間人口	15 万人	22 万人 (+5 万人) 事業実施中※	33 万人	概ね目標達成に至るペースで実施中
		処理場の改築更新率	20.5%	20.5% (+0%) 事業実施中※	33.1%	・東灘(本場) → 東灘(本場) ・垂水(東系) → 垂水(東系) 増設 ・西部(北系) ※西部処理場は令和 6 年度供用開始予定のため未達成。 (算出式) $\frac{\text{改築済の施設能力 (m}^3/\text{日)}}{\text{施設の現有能力 (m}^3/\text{日)}}$
	改築に併せた施設の耐震化	地震時にも必要最低限の機能が確保されている処理場	1 処理場	2 処理場 (+0) 事業実施中※	3 処理場	・垂水(東系) → 垂水(東系) 増設 → 西部(北系) ・玉津 必要最低限の機能: 揚排水 簡易沈殿・消毒機能 ※西部処理場は令和 6 年度供用開始予定のため未達成。
浸水に強い安全なまちづくりを進めます。	浸水対策事業の促進	計画期間中に整備する排水区域面積	—	21.4ha (+0.6ha) 事業実施中※	130ha	※R1 年度末見込み: 95.9ha(+74.5ha)
	改築に併せた施設の能力増強	雨水管きよの改修延長	—	14.7km (+10.8km) 事業実施中※	25km	・5km/年 × 5 年 (補修、改築、耐震化を含む) ※R1 年度末見込み: 24.7km(+10km)
健全な水環境と循環型社会の実現に貢献します。	高度処理の導入	高度処理を実施している処理場	24.5%	24.5% (+0%) 事業実施中※	36.7%	・P I → P I ・鈴蘭台 → 鈴蘭台 ・玉津 → 玉津 ・垂水(東系) → 垂水(東系) ・東灘(分場) → 東灘(分場) ・西部(北系) ※西部処理場は令和 6 年度供用開始予定のため未達成。 (算出式) $\frac{\text{高度処理を実施済の施設能力 (m}^3/\text{日)}}{\text{施設の現有能力 (m}^3/\text{日)}}$
	資源・エネルギーの有効活用	消化ガス有効利用率	70%	85% (+8%)	84%	・東灘 → 東灘 ・垂水 → 垂水 → 西部 ・玉津
	CO ₂ 削減の取組み	下水道事業に係る電力使用量	89,200 (千 kWh/年)	86,566 (千 kWh/年) (-1,134 (千 kWh/年))	82,600 (千 kWh/年)	・省エネ機器、バイオガス発電などの創エネ技術の導入を図ることで電力使用量を削減
持続可能な下水道サービスを提供します。	経営基盤の強化	単年度収支		+9.5 億円	単年度収支の均衡	

アクトプラン2015計画期間 こうべアクトプラン2020計画期間

神戸市下水道事業経営計画(案)

【参考4】「こうべアクトプラン2020」主要事業スケジュール

基本方針	施策	主要事業	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2025	2025	2025							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11						
安心で快適な市民生活と社会活動を支えます。	膨大なストックの改築更新	污水管きよの改築更新	125km / 5年					225km / 5年					450km / 10年														
		西部処理場の改築更新											北系					南系									
		垂水処理場の整備											東系(設備)														
		ポートアイランド処理場の改築更新											ポートアイランド処理場の改築更新														
		東灘処理場の改築更新											分場・最初沈殿池														
		その他施設の改築更新											処理場・ポンプ場 設備の改築更新														
	改築に併せた施設の耐震化	下水道施設の耐震化											管きよ・処理場・ポンプ場の耐震化														
浸水に強い安全なまちづくりを進めます。	浸水対策事業の促進 改築に併せた施設の能力増強	西河原地区の浸水対策											雨水幹線・ポンプ場の整備														
		三宮南地区の浸水対策											中突堤ポンプ場・小野浜ポンプ場・雨水幹線の整備														
		長田南部地区の浸水対策											南駒栄ポンプ場・遮集幹線・雨水幹線の整備														
		和田岬地区の浸水対策											雨水幹線の整備														
		魚崎ポンプ場の改築更新											第1期					第2期									
		神戸駅周辺地区の浸水対策											東川崎地区(ポンプ場・雨水幹線の整備)														
		市街地の浸水対策											雨水幹線等の整備														
健全な水環境と循環型社会の実現に貢献します。	資源の有効利用	こうべバイオガスの有効利用											有効利用の促進 ※H28年度から西部処理場、H30年度から玉津処理場でバイオガス発電開始														
		こうべ再生リンの有効利用											実証試験、市内農業による有効利用拡大														
市民に見える下水道を目指します。	広報プロモーションの充実 水・インフラ支援による国際貢献	水環境フェア、アクトサポーター制度の実施、国際貢献											体験型広報の実施、効果的な広報プロモーションの展開														
持続可能な下水道サービスを提供します。	経営基盤の強化	跡地活用による収入確保											跡地活用														
関連計画の目標年次			大阪湾流域別下水道整備総合計画																								
			神戸づくりの指針(市マスタープラン)																								
			神戸2015ビジョン					神戸2020ビジョン																			
			神戸市行財政改革2015					神戸市行財政改革2020																			
			新・環境基本計画																								
			第7次水質総量規制																								